

平成14年3月教育委員会定例会会議録

報告事項

報 第30号 平成14年度秋の叙勲候補者の推薦について

小濱総務課長から、平成14年度秋の叙勲候補者の推薦については前回の定例会において決定いただいていたが、文部科学省から教育行政功勞として教育委員 について1名追加推薦するようにとの指示があり、元県教育委員会委員の上野寛氏を候補者として推薦したことについて報告があり、異議なく承認された。

報 第31号 公益法人の解散及び残余財産の処分許可について

小濱総務課長から平成元年に故石垣栄太郎氏の遺作及び蔵書等の展示を目的として太地町に設立された財団法人石垣記念館が、入館者数の減少により入場料収入が減少し、運営費として年間800万円程度の赤字となっており、運用財産の取り崩しを続けてきているため、将来性等を勘案し、法人の理事会において財団の解散を決議し、残余財産については太地町に全額移譲することが決定した。これに許可を行ったことについて報告があり、異議なく承認された。

付議事項

議案第58号 和歌山県教育委員会規則の形式を左横書きに改正する規則（案）について

小濱総務課長から県の条例の形式については左横書きにするという条例が平成14年4月1日に施行されることに伴い、教育委員会の規則についてもその形式を左横書きに改める必要があるため、標記規則を制定したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第59号 和歌山県修学奨励金貸与条例施行規則（案）について

濱口生涯学習課長から2月の定例会において決定いただいた、和歌山県修学奨励金貸与条例における貸与及び返還に係る事務手続き等について、その細部について定める標記規則を制定したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、委員から第6条、第13条第2項及び第14条に関して質問があり、生涯学習課長から大学部分については250名、高校部分については370人を貸与想定人数としていること、口座振替の方法は、事務担当者が他府県の状況等も含め検討していること、返還の免除について、現行の地域改善対策の奨学金は、生活保護基準の1.5倍以下の収入の者は免除が認められるが、今回の新しい奨学金については、原則として国の考え方に倣うこととなっており、免除については原則認めないが、死亡した場合や本人が労働能力がない場合については免除することとなっているとの説明があった。

議案第60号 和歌山県高等学校規則の一部を改正する規則（案）について

山崎学校教育課長から高等学校の学科の廃止・新設に伴い規則の整備を図る必要があるため標記規則を改正したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、委員から向陽高校の文化科学科はどのような人材の育成を目的としているかとの質問があり、学校教育課長から環境科学科が理科系の学科であるのに対して、文科系・人文系の人材を育成していく。その中でも国際系の科目を念頭に置いたカリキュラムの編成を行うとの説明があった。

議案第61号 和歌山県文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則（案）について

太田文化財課長から和歌山県文化財保護条例に基づき、埋蔵文化財に関する届出・通知の様式等の細部について規定する必要があるため、標記規則を制定したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

委員から、市町村の文化財の専門家の数が少ないのではないか

と質したのに対し、文化財課長から各市町村に文化財の専門職員の配置を要請しているところである。また、各市町村にはそれぞれ文化財を守る義務があり、各市町村に文化財保護審議会を設置しているとの答弁があった。

なお関連して委員から、市町村教育委員会との協議がまとまらないで事業が止まるということがないようお願いしたいとの要望があった。

議案第62号 技能教育施設の指定の解除（案）について

山崎学校教育課長から陵雲高校と連携してきた住友金属工業高等学園から、技能教育施設としての施設を廃止するという届が出されたため、標記指定の解除について告示したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第63号 和歌山県銃砲刀剣類登録審査委員の任命（案）について

太田文化財課長から標記審査委員として3名を再任したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第64号 和歌山県立博物館協議会委員の任命（案）について

議案第65号 和歌山県立紀伊風土記の丘協議会委員の任命（案）について

上記2件について太田文化財課長から上野顕氏を和歌山県博物館協議会員として新たに任命し、他の委員については再任、また、和歌山県立紀伊風土記の丘協議会委員は全員再任としたい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第66号 平成14年度和歌山県教育委員会重点施策（案）について

西畑教育企画課長から2月の教育委員協議会で協議いただいたものについて平成13年度との変更点について説明し、平成14年度和歌山県教育委員会重点施策として作成したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、委員から以下のような質問・意見があった。

- ・学校週5日制に伴い、学力低下等の懸念が世間に広まっている。新規事業だけでなく、既存事業についてもどのようにPRしていくのか。また、学力低下についての和歌山県の調査結果はあるのか。
- ・美術館・博物館の無料化に伴いどれくらい歳入が減少するのか。また無料化を各学校や各家庭によく周知する必要がある。
- ・県立図書館の図書購入費の用途についてどのように考えているのか。
- ・新子どもプランの体験活動の中身はどういうものか。
- ・2002ワールドカップサッカーのキャンプの受け入れの状況はどうなっているか。

山崎学校教育課長から、県としての学力低下について調査した資料はない。いくつかの学校ではPTAの要望等により新学習指導要領、学校週5日制についての説明会を行っている。また、県教育委員会としても新学習指導要領、学校週5日制についての啓発リーフレットを各学校を通じて配布したところであるとの答弁があった。

太田文化財課長から、美術館等入場料収入としては約200万円の減となるが、県有施設の有効活用という面から無料化に踏みきったものであるとの答弁があった。

濱口生涯学習課長から、県立図書館の図書の購入については、選書会議を開催しその年度の購入図書を決定するとともに利用者のリクエストに応じている。また、新子どもプランの体験活動については、どのような体験活動を行うかは、それぞれの地域で考えてもらうこととなっているとの答弁があった。

谷ロスポート健康課長から、4月上旬にはデンマークのシニアチームを迎え親善試合を行い、5月20日～27日までのキャンプ期間中にチュニジアとの国際Aマッチを紀三井寺で行う予定であること。また、キャンプを行ったということだけではなく、今後、文化・スポーツを中心とした、デンマークとの国際交流の推進を行って参りたいとの答弁があった。

議案第67号 教職員の処分(案)について

大江教職員課長から事故の概要等について説明があり、慎重審

議の結果、原案のとおり決定した。

議案第68号 平成13年度末市町村立小・中学校長人事異動（案）について

各地方教育事務所長及び和歌山市教育委員会から説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第69号 平成13年度末県立学校長人事異動（案）について

議案第70号 平成13年度末県立学校教頭並びに事務長人事異動（案）について

上記2件について、大江教職員課長から説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第71号 平成13年度末事務局等人事異動（案）について

小濱総務課長から説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。